

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678600125
法人名	社会福祉法人 潤生会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井西8番地3 (電話) 0997-73-1311
自己評価作成日	平成25年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www kaigokouhyou jp/kaigosip/Top do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・ホール内に平行棒を設置し、いつでも平行棒を伝って歩く練習ができる。
- ・週3回火、木、土の午前中は余暇活動の時間を設け遊びの中で下肢訓練を行っています。
- ・薬草のお茶は利用者も喜んで飲んで下さるので水分補給につなげています。
- ・朝夕は近くの山から野鳥のさえずりが聞こえ気持ちの良い1日の始まりを迎える事ができます。
- ・開かれた施設を目指し職員の頑張る姿を観る事が出来ます

- ・事業所独自で作り上げた理念の共有は朝の申し送りで唱和し確認するなどで職員の意識付けを行い地域との交流を行っている。
- ・事業所のクリスマス会では地域住民へチラシを配布し、事業所での行事を楽しんでいる。
- ・身体拘束をしないケアにおいては、母体法人の職員と合同で委員会を設置し、研修を重ねている。
- ・災害対策では、地域住民との協力で防災組織図を作成し、消火・援助・避難誘導と役割ができ地域の連携が図れている。
- ・居室内に洗面台やトイレが付随されており便利である。また、夜間のベットの移動などの工夫をして排泄の自立の支援を行っている。
- ・職員は看取りの利用者の褥瘡を発症させないための皮膚の清潔や、下肢にある浮腫の改善を図るなど、職員それぞれが率先して自ら業務調整を行い、利用者の身体状態が悪化しないよう常に意識して対応、身体に関してのレベルアップに繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	当番の職員を中心にして、日勤者がそろった時間帯でひまわりの理念を読み上げ、前日の反省や日課を話し合い共有している。	事業所独自の理念を、日勤職員を中心に毎日の朝礼で唱和し共有している。理念の中の地域との交流、地域の一員としての暮らしを大切にし色々の場面で実践につないでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏休みに地域の子供達と午前、午後に分けて七夕を作り、利用者と子供会の竿2本を正門にたてた。母体施設での運動会、夏まつり等、数々のイベントで交流の輪を広げる事ができた。	地域の文化祭や夏祭りには、利用者と一緒に参加して買い物や食事などを楽しんでいる。地域の体験学習の受け入れやホームのクリスマス会に地域住民を招待して利用者と一緒に楽しんでもらう等、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方達の協力で防災組織表が出来て居る。「子供110番の家」を掲げ、気軽に遊びに立ち寄る子供達もふえている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、年6回行政職員や地域、家族の協力を得て奇数月に行っている。現況報告、事故報告などで、改善方法等アドバイスを受け、予防に活かしている。	会議は定期的に開催し、ヒヤリハットの報告をしたり、感染症などの対応で面会者の理解を得たり、外部評価実施の件も報告している。メンバーから率直な意見をもらいサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	評議委員会に参加して頂きアドバイスを頂いている。文化祭に出展出来る様に習字クラブを設け取り組んでいるが利用者に変化があり思う様に進まない。	町担当者とは、認定更新時や予防接種時期に面談したり電話などで、利用者の身体状況や状態変化等を相談し、事業所の対応に適切なアドバイスや助言をもらい、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	母体施設と共同で身体拘束委員会を持ち（委員2名）共有認識を図っている。	身体拘束廃止委員会を母体法人の職員と合同で実施し、職員会で報告を行い、言葉の使い方や声かけなどの研修をしている。認知症のアンケートを職員も行い、認知症に関する職員の意識付けができている。鍵の施錠は昼間はせずに自由な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	毎日のミーティングで状態を把握、職員間で防止につなげて居る。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	研修を受けた職員が会議時報告し全員で共有しています。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	利用前に重要説明書に基づき、不安や疑問な点を聞き納得いくよう話し合って利用してもらっている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	毎月状況報告を手紙で伝えている。面会時家族と話せる雰囲気づくりにつとめている。	家族の面会時に本人の近況の報告などの話をして、何でも話せる雰囲気作りに努めている。受診の同行ができないときの依頼などの相談などがあり、できるだけ対応するようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員会の参加を求め、参加のない時は管理者が会議内容を報告している。訪問時は職員や利用者に常に声をかけ、問題が生じた時は代表者自ら臨時に会議を持つ事もある。	代表者や管理者は、職員会や日常の会話の中から職員の意見や提案を聞く機会を積極的に設けている。ケアサービスのレベルアップを意識している職員の声に耳を傾け、足浴用の物品の購入など必要備品を購入するなど速やかに対応し運営に反映させている。	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者は1日数回事業所に来て管理者との話し合いを持つ、職員と触れ合いを持つ等、楽しく働ける環境作りに努めている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	島内の同事業者関係の勉強会、法人関係の研修会、町主催の勉強会を主として知識を広めようとしている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	群島グループホーム主催の勉強会に参加、交流会、施設訪問でサービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	コミュニケーションを常に持ち信頼関係を築き、本人が安心して暮らせる様に生活環境作りにつとめています。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族が何を求めてるか、困っているものは何かを把握し家族との信頼関係を築くよう努力している。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	状況等を把握し他の事業所のサービスにつなげる等の対応をしている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	利用をしている方が町内住まいの方達で方言で分かりあえる。島歌、島がたれなどで楽しくにぎやかに出来る時間をつくる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日ごろの様子や状態を電話や手紙で知らせると共に、家族と同じ思いで支援している事を常に会話で話、安心した生活を支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの理美容院を利用できる様に支援している。島外に暮らす子供や姉妹と連絡を取り合い絆を深めている。受診時は家族も協力できる体制を取っている。	利用者がもと住んでいた地域の友人が事業所に遊びに来たり、散歩の途中で墓参りをしたり、馴染みの理美容院に行く等、利用者の希望に応じ支援を行っている。遠方の家族や友達へ電話をかけたりして、関係が途切れない支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った同士でテーブルを囲み職員も加わり唄を歌ったり話をしたり、和気合い合いと過ごしている光景は素晴らしいといつも思う。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用契約が終わっても手作りの野菜を届けて貰ったり関係が続いている。入院先の病室見舞い状況確認の電話等で継続してお付き合いが出来る様に心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の生活の中で何をしたいのか、誰とどこで暮らす事が本人に取って良いのか家族や、スタッフと検討し記録に努め行動をおこしている。</p>	<p>日々の行動や会話の中で思いや意向の把握に努めている。気づいた事は個人記録帳に記録し毎日の朝礼や職員会で報告して共有している。困難な場合は日々の動作や行動で把握し家族と話し合い、本人中心に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や生活環境等を把握し、今までの生活に近づけたよりよいサービスが提供出来る様につとめている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>何をやろうとしているか、何をやりたいか、動きや表情からくみ取り納得のいく様に支援しています。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>自分らしく生活出来る様に家族、スタッフ、医療機関からの意見情報を受け、本人参加の下計画を立てる様にしている。</p>	<p>介護計画は本人や家族・職員で話し合い作成している。モニタリングは毎月行い、長期目標は6ヶ月、短期目標は3ヶ月の介護計画を作成している。状況に応じて臨機応変に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別ファイルで食事、水分量、排泄等身体状況や、日々の暮らしに変化を記録に残し、明日へのケアに生かして居る。個別記録をもとに介護計画の見直し、評価につなげている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人の状態や家族の意向によって、通院、送迎等必要な支援は柔軟に対応し個々の満足度を高める様に努力している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	自主防衛組織団に地域住民も名を連ね参加協力体制にある。「子供110番の家」を掲げ地域の子供達がいつでも立ち寄る開かれた施設に成りつつある。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人や家族が希望する医療機関で受診が出きる様に支援体制をとっている。家族が同行出来ない時は職員が同行し家族に報告している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。訪問診療の受診も支援している。家族との触れ合い目的で意識的に家族同行の受診を依頼しているが、3ヶ月に1回は医師から処方時の助言を得る為に職員が同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	体調や表情の変化を日逃さない様訪問看護ステーション・母体施設の看護職員との連携を常に取り合い早期対応に取り組んでいる。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	本人の情報を医療機関に提供。入院によるダメージを極力防ぐため医師や、ケヤワーカーとの連携を常に取り、早期退院に取り組んでいる。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人や家族の意向を踏まえ医師、職員が連携を取り、家族の協力も得ながら今年100才を迎えたおばあちゃんを看取る事ができました。今後もこの経験を生かし支援に取り組んでいきたい。	事業所として、入居時の段階で本人や家族と話し合いを行い、終末期ケアの方針を説明している。その都度、本人や家族の意向を聞き、状態に応じて訪問看護や医師との連携を図っている。看取りの事例があり、職員全員が終末期ケアに対して情報を共有し取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	すべての職員が救急対応の実技講習を受け救急時の対応、連絡体制が出来る様に整えている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防職員の協力の下、年2回の避難訓練、消火器の使い方、避難経路の確認を行っている。地域の方達の協力体制にも母体施設と連携を組み話し合いをもつている。	年2回消防署の指導のもと、火災や水害を含む夜間想定で災害非難訓練を行っている。地域自主防災組織図も再度作成し、消防援助班・避難誘導班ができる。地域へ協力の呼びかけで訪問し組織図を配布している。非常時の水や食料・紙オムツ等の準備もされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩として尊敬しその人にあった言葉かけやケヤを心がけている。カーテンやドアでプライバシーを損ねない様に、また言葉かけにも気をつける様、心がけ支援している。</p>	<p>朝のミーティングや職員会で、個人情報保護についてやプライバシーの確保について、研修をしている。失禁時の対応でさりげなく支援したり、優しい響きの言葉かけを行うような支援をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者個々に合った声掛けを心がけ小さな事も自分で決める事が出来る様に言葉かけにも気をつけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れはあります。あくまでも本人優先で個々の体調に配慮し対応している。入浴や行事はスタッフで決める事もあるが母体施設に合わせる事も少なくない。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>今日はどの服を着たいか、起床時、入浴時本人に決めて貰う事にしている。出来ない方は職員がこの服が良いねとアドバイス出かける時は必ずお化粧をする利用者もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームで取れた野菜の下準備等利用者の手伝をもとめている。近所や家族から頂いた野菜は何に使ったら良いか、献立を変更する事もある。片付けには利用者の協力もある。	事業所内にある菜園の野菜収穫を職員と一緒に行ったり、食材の買い物・食事の準備・味見・食後の後片付け等を力に応じてしている。ケーキの飾り付け等を職員と一緒に楽しんで行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取は特に気をつけて居る。医師からの指示で摂取量が決まっている方の対応に職員は毎回苦慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事が安全に美味しく頂けるよう食後は毎回口腔ケアを行う事を職員は理解している。自分で出来る方は声をかけ、出来ない方はスポンジ等を使ってケアに努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレで排泄が出来る様に排泄パタンを把握し誘導している。失敗した時は周囲に気づかれない様に対応している。放尿もあるが自尊心を気づけない様に気配りしている。	利用者一人ひとりのチェック表で排泄パターンを把握しトイレ誘導をしたり、ナースコール対応での排泄支援も行っている。オムツ使用の利用者も、日中はリハビリパンツをしている。夜間はベットの移動で自力でのトイレができるように工夫する等、排泄の自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パタンを記録に残し把握している。水分補給の大切さ、纖維質の多い食材提供に気をつけて居るが、主治医と相談し薬に頼る事も多くなってきた。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は月水金と決まっているが、本人の希望がある時はいつも入る事が出来る体制にある。入浴を拒む時は、本人の意向に沿って入浴できるよう支援している。	入浴は1週間に3回と決めているが、夏場は定期の入浴日の他にシャワー浴も楽しめる様支援している。自分のシャンプーを使用したり、島唄を唄ったりして、会話が弾み利用者それぞれに楽しんでいる。入浴を拒む利用者には時間を置いて声かけしたり、シャワー浴等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜寝て貰う為に昼間の活動を促し、生活のリズムを整えている 眠剤を飲んでいる方は日中の活動の状況を把握し医師に相談し変更する事も少なくない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は飲み忘れない様に日づけを入れて保管し、職員が手渡しや直接口に入れ飲み込んだか確認をしている。薬の変更等は申し送り簿でしらせている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	下膳、食器拭き、外作業には率先して手伝ってくれる。庭の草取りは手際よく片付けてくれるので次回につながる様に感謝の気持ちを添えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	母体施設合同のイベントに全員で参加。食材の買い物や個々の買い物に同行、楽しみを持たせるよう支援している。今年は久しぶりに全員参加の運動会ができ本人も家族に報告し喜んでいた。	日常的には、玄関先の庭で体操や日光浴を楽しみ、歌を唄ったり、畑の草取りや花の手入れなどをしている。週1回近くの公園でゲートボールを見物したり墓参りをしたり、ドライブで花見に出掛けたりする等、支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額のお金を持ち、使う事無くタンスの奥深く直して居る。お金を持つ事を忘れている方が大半で買い物がある時は職員同伴で支払いは本人にさせている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方に居る家族には手紙で毎月近況報告。子供達からの電話がほとんどで、父さん母さんの年金があるので正月は帰ってきてなさいと威厳のある言葉で話し、会いたい気持ちを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの空間に平行棒や足裏マッサージ機等を設置、火・木・土は平行棒を伝って歩く練習に励んでいる。利用者と職員の合作等で白い壁は暖かみを演出している。	吹き抜けの高い天窓からは明るい日差しが差し込み、開閉ができる。壁には季節や行事に合わせた飾り付けがされている。クリーンメーターや室温器メーターがあり、ホール隅には大型の乾湿器も配置してあり湿度に対しては十分気配りされて快適に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルは気の合った者同士で囲み、唄を歌ったり世間話に夢中になり、笑いがあつたり怒っている事があつたりで思い思いに過ごしている光景がみられる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋にトイレや洗面所がありプライバシーが保たれていて、家具や寝具は普段使用していたものが持ち込まれ安心した生活を支援している。	居室には自宅で使い慣れた馴染みの家具が配置され、家族との思い出の品や写真もそれぞれに飾られている。プライバシーに配慮し利用者が気兼ねなく過ごせるように、各部屋にトイレや洗面台が設置され、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	ドアに大きく名前を付け混乱や行動の失敗が無い様に気配りをしている。トイレの手すりの付け替え等安全で自立した生活を目指し支援している。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に 1 回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
		<input type="radio"/>	4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない